



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 極東証券株式会社

上場取引所 東

コード番号 8706

URL <http://www.kyokuto-sec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊池 一広

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 白井 雅人

TEL 03-3666-5130

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,302	30.5	9,663	23.8	4,835	16.7	5,397	26.6	6,484	146.3
25年3月期第3四半期	7,895	28.4	7,806	28.9	4,143	95.8	4,262	90.7	2,632	112.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,724百万円 (75.4%) 25年3月期第3四半期 2,693百万円 (129.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	203.27	—
25年3月期第3四半期	82.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	85,983	42,412	48.0	1,293.10
25年3月期	77,754	40,293	51.8	1,263.01

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 41,251百万円 25年3月期 40,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	72.00	82.00
26年3月期	—	70.00	—		

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社グループは、業績予想の開示を行っておりません。詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 5社 (社名) 合同会社アルカイオス匿名組合  
 合同会社フィール旭川開発匿名組合  
 東西セレクト・セブン合同会社匿名組合  
 神谷町インベスト合同会社匿名組合  
 合同会社ワルキューレ匿名組合  
 、 除外 1社 (社名) 東西セレクト・セブン合同会社匿名組合

(注) 詳細は、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更等」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	32,779,000 株	25年3月期	32,779,000 株
26年3月期3Q	877,386 株	25年3月期	876,861 株
26年3月期3Q	31,901,827 株	25年3月期3Q	31,902,226 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。なお、四半期連結財務諸表につきましては、この四半期決算短信開示時点において、四半期レビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、「3. 平成26年3月期の連結業績予想」に記載のとおり、業績予想の開示は行わず、その代替として業績数値の早期開示に努めることとし、連結業績の数値がほぼ確定すると考えられる期末又は四半期末から起算して10営業日を目途に、当該数値を速報値として公表してまいります。

## ○添付資料の目次

定性的情報・財務諸表等	2
1. 経営成績に関する説明	2
2. 財政状態に関する説明	3
3. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
4. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	4
(2) 会計方針の変更等	4
5. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
「参考資料」	11
平成26年3月期第3四半期連結決算資料	11
(1) 受入手数料	11
(2) トレーディング損益	11
「参考資料」	12
平成26年3月期第3四半期決算資料	12
(1) 株券売買高（市場デリバティブ取引を除く）	12
(2) 引受・募集・売上の取扱高	12
(3) 自己資本規制比率	12
(4) 役職員数	12
「参考資料」	13
連結損益計算書の四半期推移	13

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに景気回復の動きが続きました。海外でも米国の回復基調が続いた他、欧州や中国、アジアでも回復の兆しが見られました。

日経平均株価は、アベノミクス期待で上昇後は米国の金融緩和縮小懸念により、年央にほぼ期初の水準まで下落しましたが、年末には5月高値を抜き、前期末から31%上昇の16,291円で取引を終えました。国内では消費税率引き上げ決定、海外ではFRBが2014年1月から金融緩和の縮小開始を決めるなど大きな政策変化がありました。しかし国内では景気対策が打ち出されたことや、東京五輪の誘致決定、海外では米景気の回復基調が一段と高まってNYダウが史上最高値を更新したこと、また円安ドル高などが株価を押し上げました。当期末の円レートは対ドルで105円台を付けました。

こうした環境の中、当社グループは、Face to Faceのビジネスモデルに立脚しつつ、お客さまの多様なニーズにお応えするため、引き続き「特色ある旬の商品」の提供に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益103億2百万円（前年同期比130.5%）、純営業収益96億63百万円（同123.8%）、経常利益53億97百万円（同126.6%）、四半期純利益64億84百万円（同246.3%）となりました。

当第3四半期連結累計期間における収益等の内訳は次のとおりです。

#### (1) 受入手数料

受入手数料は、23億4百万円（前年同期比198.7%）となりました。内訳は以下のようになっております。

##### ① 委託手数料

株券委託手数料は、12億93百万円（同350.8%）を計上し、これに債券委託手数料等を加えた「委託手数料」は、13億19百万円（同350.7%）となりました。

##### ② 引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

「引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料」は、41百万円（同177.5%）となりました。

##### ③ 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は、投資信託の取扱いの増加により、6億49百万円（同119.7%）となりました。

##### ④ その他の受入手数料

主に投資信託の代行手数料からなる「その他の受入手数料」は、2億93百万円（同135.0%）となりました。

#### (2) トレーディング損益

株券等トレーディング損益は、3億72百万円の利益（前年同期比181.9%）、債券等トレーディング損益につきましては、外貨建外国債券の販売は好調でありましたが、保有債券の評価損の発生により、51億82百万円の利益（同91.1%）にとどまりました。これらにその他のトレーディング損益10百万円の利益（同17.5%）を加えた「トレーディング損益」は、55億65百万円の利益（同93.5%）となりました。

#### (3) 営業投資有価証券損益

連結子会社（㈱FEインベスト）の「営業投資有価証券損益」は、1億20百万円の利益（前年同期は12百万円の損失）となりました。

#### (4) 金融収支

金融収益9億93百万円（前年同期比140.9%）から金融費用6億39百万円（同715.0%）を差し引いた「金融収支」は、3億53百万円（同57.5%）となりました。

#### (5) その他の営業収入

「その他の営業収入」は、連結子会社における手数料収入や不動産賃貸収入を中心に、13億18百万円（前年同期は91百万円）となりました。

#### (6) 販売費・一般管理費

「販売費・一般管理費」は、48億27百万円（前年同期比131.8%）となりました。

#### (7) 営業外損益

営業外収益は、投資有価証券の配当金を中心に合計で6億89百万円（前年同期比366.5%）を計上いたしました。一方、営業外費用は、支払利息等合計で1億28百万円（同185.9%）を計上し、営業外収益から営業外費用を差し引いた「営業外損益」は、5億61百万円の利益（同471.0%）となりました。

#### (8) 特別損益

特別利益は、投資有価証券売却益等合計で45億58百万円（前年同期は26百万円）を計上いたしました。一方、特別損失は、減損損失等合計で6億89百万円（前年同期比386.2%）を計上し、特別利益から特別損失を差し引いた「特別損益」は、38億69百万円の利益（前年同期は1億51百万円の損失）となりました。

## 2. 財政状態に関する説明

### (1) 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、859億83百万円（前連結会計年度末は777億54百万円）となり、82億29百万円増加しました。流動資産は、585億61百万円（前連結会計年度末は564億94百万円）となり、20億66百万円増加しました。主な要因としては、トレーディング商品の増加（241億63百万円から302億57百万円へ60億93百万円増）、信用取引資産の増加（56億46百万円から72億36百万円へ15億89百万円増）があった一方で、現金・預金の減少（107億7百万円から69億27百万円へ37億79百万円減）が生じたことなどがあげられます。固定資産は、273億1百万円（前連結会計年度末は212億59百万円）となり、60億41百万円増加しました。これは、連結子会社増加に伴う有形固定資産の増加（48億61百万円から166億25百万円へ117億63百万円増）があった一方で、投資有価証券の減少（143億43百万円から85億51百万円へ57億92百万円減）が生じたことなどがあげられます。

### (2) 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、435億71百万円（前連結会計年度末は374億60百万円）となり、61億10百万円増加しました。流動負債は、361億10百万円（前連結会計年度末は338億63百万円）となり、22億46百万円増加しました。主な要因としては、預り金の増加（97億66百万円から121億23百万円へ23億57百万円増）などがあげられます。固定負債は、74億41百万円（前連結会計年度末は35億83百万円）となり、38億58百万円増加しました。これは、長期借入金の増加（10億円から51億55百万円へ41億55百万円増）があった一方で、その他の固定負債の減少（25億41百万円から22億34百万円へ3億6百万円減）が生じたことなどがあげられます。

### (3) 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、424億12百万円（前連結会計年度末は402億93百万円）となり、21億18百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加（275億33百万円から294億86百万円へ19億53百万円増）によるものであります。

## 3. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

### 「業績予想を開示できない理由」

当社グループの営業収益は、証券市場に係る受入手数料及びトレーディング損益を柱としており、その大半が株式市場及び債券市場を源泉としております。株式市場関連収益の連結純営業収益に占める割合は、平成25年3月期が9.1%（受入手数料6.3%、トレーディング損益2.8%）、平成24年3月期が8.4%（受入手数料4.7%、トレーディング損益3.7%）となっており、また、債券市場関連収益につきましては、トレーディング損益を中心に、平成25年3月期が73.5%、平成24年3月期が74.0%と、相当の割合に達しております。当社グループは、証券市場を核とした様々なビジネスに加え、投資銀行業務の強化を図るなど、収益源の多角化を通じて収益の安定性確保に努めてはおりますが、それでもなお、業績が証券市場の動向に左右される傾向が強く、株式・債券市況の好・不調によって、業績が大きく変動する可能性があります。加えて、当社グループは、Face to Faceのビジネス・モデルを堅持しつつ、お客さまの多様な資金運用ニーズにお応えするため様々な金融商品を取り扱っており、その過程で、まとまった量の外貨建外国債券を一時的に保有することがあります。そのため、外国為替市場等の急激な変動により、非常に短い期間に多額の評価損益が発生する可能性も否定できません。

もとより、証券市場や外国為替市場は、内外の政治・経済情勢、企業収益、金利、税制等、様々な要因を反映して変動します。したがって、当社グループの業績を予想するためには、あらかじめこれら変動要因を予測しつつ将来の市場動向を的確に把握する必要がありますが、それを実現することは、不可能に近いのが実情であります。さらに、投資銀行業務に関しても、収益につながる案件をすべて事前に予想することは、極めて困難であります。当社グループといたしましては、こうした多くの不確実な要因により予想と実績との間に大きな乖離が生ずる可能性の高い状況の中で、敢えて業績予想を開示することは、結果的に、市場に誤ったメッセージを発信することにつながりかねず、却って株主や投資者の皆さまの投資判断に悪影響を与え、公正な株価形成を阻害するおそれがあると思料します。

上述の理由から、当社グループは、業績予想の開示は行わず、その代替として業績数値の早期開示に努めることとし、連結業績の数値がほぼ確定すると考えられる期末又は四半期末から起算して10営業日を目途に、当該数値を速報値として公表してまいります。

#### 4. サマリー情報（注記事項）に関する事項

##### （1）連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

###### 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、合同会社アルカイオス匿名組合、合同会社フィール旭川開発匿名組合、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合は連結財務諸表に関する会計基準等の適用に伴い、連結の範囲に含めております。第2四半期連結会計期間において、神谷町インベスト合同会社匿名組合、当第3四半期連結会計期間において、合同会社ワルキューレ匿名組合が新たに設立されたため、連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間において、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合は清算したため、連結の範囲から除外しております。

##### （2）会計方針の変更等

###### 連結財務諸表に関する会計基準等の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成23年3月25日）、「一定の特別目的会社に係る開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第15号 平成23年3月25日）、「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第22号 平成23年3月25日）及び「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第20号 平成23年3月25日）を第1四半期連結会計期間より適用し、合同会社アルカイオス匿名組合、合同会社フィール旭川開発匿名組合、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合を新たに連結子会社としました。

新たに連結子会社となる合同会社アルカイオス匿名組合、合同会社フィール旭川開発匿名組合、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合への会計基準等の適用については、「連結財務諸表に関する会計基準」第44-4項(3)に定める経過的な扱いに従っており、適用初年度の期首において合同会社アルカイオス匿名組合、合同会社フィール旭川開発匿名組合、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合に関する資産、負債及び少数株主持分を連結財務諸表上の適正な帳簿価額により評価しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	10,707	6,927
預託金	9,604	10,641
トレーディング商品	24,163	30,257
商品有価証券等	24,156	30,257
デリバティブ取引	7	—
約定見返勘定	1,531	397
営業投資有価証券	2,724	12
信用取引資産	5,646	7,236
信用取引貸付金	4,814	6,043
信用取引借証券担保金	831	1,193
その他の流動資産	2,171	3,095
貸倒引当金	△53	△6
流動資産計	56,494	58,561
固定資産		
有形固定資産	4,861	16,625
土地	4,006	11,518
その他	855	5,107
無形固定資産	106	88
投資その他の資産	16,291	10,587
投資有価証券	14,343	8,551
その他	1,994	2,079
貸倒引当金	△46	△43
固定資産計	21,259	27,301
繰延資産	—	121
資産合計	77,754	85,983
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	60	11
商品有価証券等	54	—
デリバティブ取引	6	11
信用取引負債	831	1,145
信用取引借入金	277	81
信用取引貸証券受入金	554	1,064
預り金	9,766	12,123
短期借入金	19,180	18,975
未払法人税等	2,190	1,693
賞与引当金	355	150
その他の流動負債	1,479	2,010
流動負債計	33,863	36,110
固定負債		
長期借入金	1,000	5,155
退職給付引当金	41	52
その他の固定負債	2,541	2,234
固定負債計	3,583	7,441

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	13	19
特別法上の準備金計	13	19
負債合計	37,460	43,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251	5,251
資本剰余金	4,774	4,774
利益剰余金	27,533	29,486
自己株式	△862	△863
株主資本合計	36,697	38,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,595	2,602
その他の包括利益累計額合計	3,595	2,602
少数株主持分	0	1,160
純資産合計	40,293	42,412
負債・純資産合計	77,754	85,983



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益		
受入手数料	1,160	2,304
委託手数料	376	1,319
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	23	41
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	542	649
その他の受入手数料	217	293
トレーディング損益	5,952	5,565
営業投資有価証券損益	△12	120
金融収益	704	993
その他の営業収入	91	1,318
営業収益計	7,895	10,302
金融費用	89	639
純営業収益	7,806	9,663
販売費・一般管理費		
取引関係費	440	517
人件費	2,255	2,697
不動産関係費	356	484
事務費	374	455
減価償却費	71	157
租税公課	82	185
貸倒引当金繰入れ	1	—
その他	80	329
販売費・一般管理費計	3,663	4,827
営業利益	4,143	4,835
営業外収益		
受取配当金	134	458
貸倒引当金戻入額	0	45
投資事業組合運用益	21	59
その他	32	125
営業外収益計	188	689
営業外費用		
匿名組合投資損失	55	50
支払利息	1	53
その他	11	23
営業外費用計	69	128
経常利益	4,262	5,397

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	24	4,466
金融商品取引責任準備金戻入	2	—
その他	—	91
特別利益計	26	4,558
特別損失		
減損損失	—	655
金融商品取引責任準備金繰入れ	—	5
投資有価証券売却損	0	—
関係会社清算損	169	2
ゴルフ会員権売却損	7	—
その他	0	25
特別損失計	178	689
税金等調整前四半期純利益	4,110	9,266
法人税、住民税及び事業税	1,292	3,252
法人税等調整額	185	296
法人税等合計	1,477	3,548
少数株主損益調整前四半期純利益	2,632	5,717
少数株主損失(△)	△0	△767
四半期純利益	2,632	6,484

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,632	5,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	△993
その他の包括利益合計	60	△993
四半期包括利益	2,693	4,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,693	5,491
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△767

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 「参考資料」

平成26年3月期第3四半期連結決算資料

## (1) 受入手数料

## ① 科目別内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
委託手数料	376	1,319	943	250.7	731
(株券)	(368)	(1,293)	(924)	(250.8)	(716)
(債券)	(3)	(2)	(△0)	(△25.5)	(5)
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	23	41	18	77.5	29
(株券)	(23)	(41)	(18)	(79.8)	(28)
(債券)	(0)	(-)	(△0)	(-)	(0)
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	542	649	106	19.7	828
その他の受入手数料	217	293	76	35.0	457
合 計	1,160	2,304	1,144	98.7	2,046

## ② 商品別内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
株券	397	1,342	945	237.7	755
債券	4	4	△0	△13.7	6
受益証券	749	936	187	25.0	1,097
その他	8	20	12	157.6	186
合 計	1,160	2,304	1,144	98.7	2,046

## (2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
株券等	204	372	167	81.9	343
債券等	5,687	5,182	△504	△8.9	8,867
その他	60	10	△49	△82.5	135
合 計	5,952	5,565	△386	△6.5	9,347

「参考資料」

平成26年3月期第3四半期決算資料

(1) 株券売買高（市場デリバティブ取引を除く）

（単位：百万株、百万円）

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率（%）		前 期	
	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	金 額
合計	1,572	436,703	2,425	1,086,395	54.3	148.8	2,741	773,890
（委託）	(246)	(83,304)	(429)	(283,245)	(74.4)	(240.0)	(406)	(155,418)
（自己）	(1,325)	(353,398)	(1,996)	(803,149)	(50.6)	(127.3)	(2,334)	(618,472)
委託比率	15.7%	19.1%	17.7%	26.1%			14.8%	20.1%
東証シェア	0.20%	0.09%	0.18%	0.10%			0.22%	0.10%
1株当たり 委託手数料	1円45銭		2円99銭				1円72銭	

(2) 引受・募集・売上の取扱高

（単位：百万株、百万円）

			前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減率（%）	前 期
引受高	株 券	株 数	0	0	△3.9	0
	〃	金 額	1,189	792	△33.3	2,739
	債 券	額面金額	100	—	—	100
	コマーシャル・ペーパー および外国証券等	額面金額	—	—	—	—
募集・売上の 取扱高（注）	株 券	株 数	0	0	△38.9	1
	〃	金 額	14,487	1,029	△92.9	15,826
	債 券	額面金額	7,925	905	△88.6	8,632
	受 益 証 券	額面金額	46,994	88,081	87.4	74,220
	コマーシャル・ペーパー および外国証券等	額面金額	—	4,997	—	4,050

（注）売出高及び私募の取扱高を含む。

(3) 自己資本規制比率

（単位：百万円）

		前第3四半期末	当第3四半期末	前 期 末	
基本的項目	(A)	32,349	36,589	33,024	
補完的項目	その他有価証券評価差額金（評価益）等	221	2,601	3,595	
	金融商品取引責任準備金	13	19	13	
	貸倒引当金	103	6	125	
	計	(B)	338	2,627	3,734
控除資産	(C)	14,334	16,846	15,175	
固定化されていない自己資本	(A) + (B) - (C)	(D)	18,353	22,371	21,582
リスク相当額	市場リスク相当額	2,170	3,483	3,324	
	取引先リスク相当額	935	403	508	
	基礎的リスク相当額	1,229	1,480	1,278	
	計	(E)	4,335	5,368	5,111
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100 (%)	423.3%	416.7%	422.1%	

(4) 役員員数

（単位：人）

	前第3四半期末	当第3四半期末	前 期 末
役員	9	9	9
従業員	235	243	233

## 「参考資料」

## 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前第3四半期	前第4四半期	当第1四半期	当第2四半期	当第3四半期
	24. 10. 1	25. 1. 1	25. 4. 1	25. 7. 1	25. 10. 1
	24. 12. 31	25. 3. 31	25. 6. 30	25. 9. 30	25. 12. 31
I 営業収益	3,570	4,311	3,572	3,456	3,273
1. 受入手数料	454	886	953	652	698
2. トレーディング損益	2,837	3,394	1,997	1,809	1,758
3. 営業投資有価証券損益	△8	△415	△50	145	26
4. 金融収益	237	289	343	321	328
5. その他の営業収入	49	157	328	528	461
II 金融費用	29	36	109	187	342
純営業収益	3,541	4,275	3,462	3,269	2,931
III 販売費・一般管理費	1,247	1,409	1,640	1,719	1,467
1. 取引関係費	135	220	149	195	172
2. 人件費	774	726	990	904	802
3. 不動産関係費	127	137	153	169	161
4. 事務費	127	140	154	150	151
5. 減価償却費	24	23	47	52	57
6. 租税公課	28	41	58	84	42
7. 貸倒引当金繰入れ	△0	23	—	12	△12
8. その他	28	95	87	150	91
営業利益	2,293	2,865	1,822	1,549	1,463
IV 営業外収益	56	126	215	325	148
V 営業外費用	23	18	75	34	19
経常利益	2,326	2,974	1,962	1,840	1,593
VI 特別利益	21	1,454	3,971	89	497
VII 特別損失	170	297	23	661	4
税金等調整前四半期純利益	2,176	4,132	5,909	1,269	2,087
法人税、住民税及び事業税	706	1,998	2,134	628	488
法人税等調整額	61	△402	122	△20	193
少数株主損益調整前四半期純利益	1,408	2,535	3,652	661	1,404
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△1	△5	△759	△1
四半期純利益	1,408	2,537	3,657	1,421	1,405